

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和3年6月30日



# 学校だより

## 7月号

Email y3motois@edu.city.yokohama.jp

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

Tel 045(902)1821

## クロちゃん

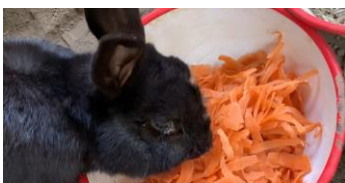
校長 鈴木 彰

先日、とても悲しい出来事がありました。学校で飼育しているウサギのクロちゃんの命尽きる日が来てしまったのです。

クロちゃんは、とても長い間、元石川小学校の子どもたちと共に過ごしてきました。先日まで来ていた教育実習生も小学校在学中からずっとクロちゃんの世話をしてくれていました。クロちゃんは、人間に換算すると105歳にあたるような高齢です。

6月の下旬、動物病院で診てもらったときは、「腸があまり動かないようなので危険です。この1週間が大事です」と獣医師に言われました。そして、そのちょうど1週間後にクロちゃんは動けなくなってしまいました。飼育・栽培委員会の先生が、「校長先生。いよいよ危ないです。」と伝えにきました。

「できるかぎりのことをしてあげよう。ニンジンジュースを注射器で口に含ませて、水分と栄養を補給できないだろうか。」「みんながずっと愛し続けているクロちゃんの命が危ないことを子どもたちにもしっかりと伝えて、学校のみんで応援したいね。」と提案しました。



担当の先生は、すぐに行動に移してジュースを買ってきました。うれしいことに、クロちゃんは元気にジュースを飲みました。それだけでなく、横たわっていた自分の体を起こして歩き、ピーラーで薄く切ったニンジンをもぐもぐと食べ始めました。「よかった。」

翌日、飼育・栽培委員会の子どもたちを集めて、このことを伝えました。子どもたちは給食の時間に、昼の放送で全校児童に伝えてくれました。学校中から、応援の声が届くようになりました。クロちゃんは相変わらず調子の悪い状態でしたが、日に何回かジュースをあげるたびに元気を取り戻しました。

しかし、6月22日の朝、クロちゃんは空に旅立ちました。中休みに委員会活動の子どもたちに伝えと、この悲しいニュースはすぐに全校に伝わりました。副校長先生が、その日のうちに動物霊園に届ける手はずを整えるのと並行して、クロちゃんのいない飼育小屋には子どもたちから箱いっぱいのメッセージが届きました。

「クロちゃん、今までありがとう。」「クロちゃん、天国でも見ていてね。」「クロちゃんは、わたしたちのアイドルです。」

子どもたちのメッセージは、クロちゃんと一緒に霊園に届けました。

学校で飼われる動物は幸せなのか……。私には何とも答えを出せません。でも、元石川のクロちゃんの子どもたちみんなに愛され見つめられながらの人生は、幸せだったかもしれません。翌日の夕方には、このニュースを聞いたたくさんの中学生が花を持って訪ねてくれました。クロちゃん、ありがとう。子どもたちも、ありがとう。